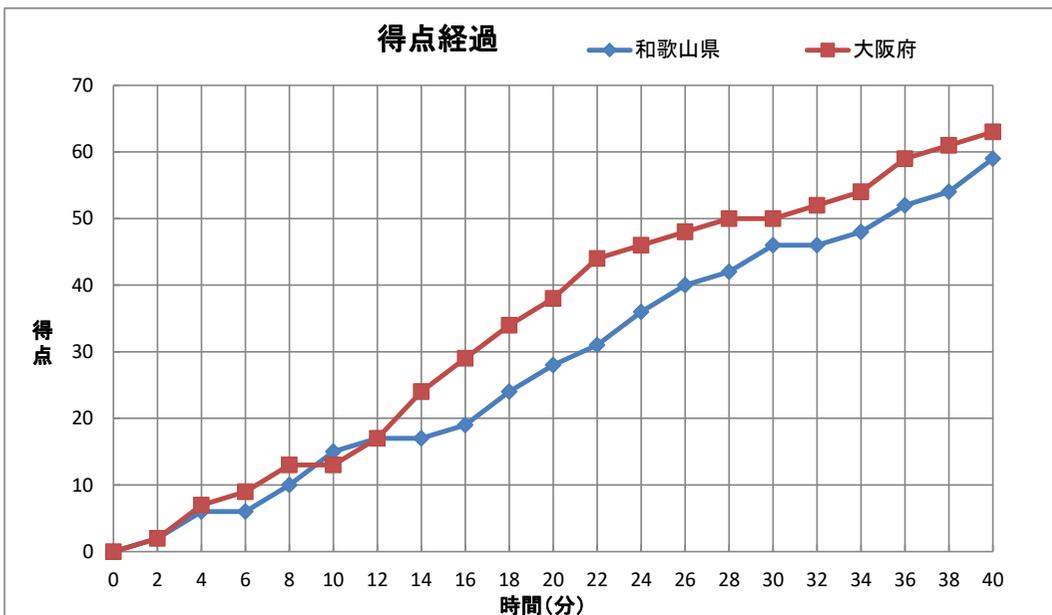


個人トータル表

<b>少年女子</b>		令和6年8月18日 10:00 開始														
<b>準決勝</b>		和歌山ビッグホエール D														
和歌山県 (G3)	59	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>25</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>13</td></tr> </table>	15	1st	13	13	2nd	25	18	3rd	12	13	4th	13	63	◎ 大阪府 (H2)
15	1st	13														
13	2nd	25														
18	3rd	12														
13	4th	13														
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則			
* 4	角谷 実咲	4	0	2	0	2	* 4	杉山 もも	14	2	4	0	3			
5	重村 紗知穂	0	0	0	0	0	* 5	細澤 幸生	17	0	8	1	0			
6	中田 萌菜	2	0	1	0	0	* 6	松本 璃音	15	3	3	0	3			
7	山本 真央	0	0	0	0	0	* 7	杉山 紗渚	3	0	1	1	2			
* 8	佐藤 天香	5	1	1	0	0	8	黒田 愛里咲	-	-	-	-	-			
* 9	石山 紗衣	10	0	5	0	1	9	原 乙羽	-	-	-	-	-			
10	中道 蘭	6	0	3	0	1	* 10	守能 董子	12	0	6	0	2			
* 11	本 日菜子	3	1	0	0	2	11	岸辺 倅采	0	0	0	0	0			
* 12	浦田 沙希	27	3	7	4	2	12	市村 心春	-	-	-	-	-			
13	西川 友蘭	0	0	0	0	0	13	繁澤 萌々花	-	-	-	-	-			
14	鈴木 聖乃	0	0	0	0	1	14	申 俐華	0	0	0	0	0			
15	重村 菜摘美	2	0	1	0	0	15	飛驒 和華	2	0	1	0	0			
コーチ	高橋 直子	/	/	/	/	0	コーチ	安藤 香織	/	/	/	/	0			
Aコーチ		/	/	/	/		Aコーチ		/	/	/	/				
合計		59	5	20	4	9	合計		63	5	23	2	10			
主審: 伊藤 亮介																
副審: 大溝 貴広		新居田 はなの														



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:35	19:42	34:52	39:55	39:59	:	:	:	:
TeamB	:	:	39:59	:	:	:	:	:	:

〔戦評〕  
**【第1Q】** 両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。大阪が#4杉山のジャンプシュートで先制。和歌山は#11本#12浦田が攻撃の起点となり果敢なドライブで攻め込む。大阪はオフェンスリバウンドやドライブからの合わせプレイなど高さを生かし、和歌山はスティールからの速攻や3Pシュートなど機動力で勝負する。15対13和歌山2点リードで第1Q終了。  
**【第2Q】** 第2Q、2分を過ぎたところで#10守能のドライブシュートが決まり大阪が逆転すると、和歌山はシュートミスから大阪に連続得点を許し、7点差がついたところでたまたまタイムアウト。その後はリズムを取り戻し、一進一退を繰り返すが、大阪#4杉山と#6松本の3Pシュートなどでじわじわと点差を広げられる。和歌山は残り18秒でタイムアウトを取り、スローインセットでバスケットボールカウントをもらい3点を返し、10点差で第2Q終了。  
**【第3Q】** 後半開始早々、大阪#10守能が連続得点し、和歌山を引き離しにかかる。和歌山は粘り強いディフェンスと#12浦田の3Pシュートや#9石山のジャンプシュートなどで喰らいつき、逆に点差を4点に縮め、46対50で第3Q終了。  
**【第4Q】** 大阪は和歌山の厳しいディフェンスに苦しみつつもリバウンドを支配し、じわじわと点差を広げ、残り5分08秒再び9点差をつけたところで和歌山がタイムアウト。和歌山はオールコートゾーンプレスに切り替え起死回生を図る。残り5.5秒で2点差まで追い上げ、タイムアウトからのフロントコートサイドセットを勝ち取るが、スティールされ万事休す。59対63で大阪が決勝に駒を進めた。

戦評: 藪添 順子                      記録: 和歌山北高校